

ほけんだより

関西学院高中部
保健室
【臨時号】

新型コロナウイルスについて、日々状況は変化していきますが、今の時点で知っておいてほしいことをお伝えします。

一人ひとりが予防に努め、感染防止のための行動がとれること、そして発熱等で休んだクラスメイトに対して配慮できる気持ちを持つことも大切です。正しい知識に基づいて冷静に行動しましょう。

新型コロナウイルスに関するQ&A

【厚生労働省HPより（令和2年2月19日時点版）参考】

●コロナウイルスにとはどのようなウイルスですか？

コロナウイルスは、発熱や上気道症状を引き起こすウイルスで、ヒトに感染を起こすものは6種類あることがわかっています。

●潜伏期間はどのくらいありますか？

世界保健機構（WHO）のQ&Aによれば、現時点の潜伏期は1-12.5日（多くは5-6日）とされており、また、他のコロナウイルスの情報などから感染者は14日の健康状態の観察が推奨されています。

●新型コロナウイルスは感染症はどのように感染するのでしょうか？

現時点では、飛沫感染と接触感染の2つが考えられます。

（1）飛沫感染

感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つば）と一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。

（2）接触感染

感染者がくしゃみを咳や手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付きます。他者がその物に触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触って粘膜から感染します。

*主な感染場所：電車やバスのつり革、ドアノブ、スイッチなど

●感染を予防するために注意すべきことはありますか？

まずは、石鹸やアルコール消毒液などによる手洗いを行ってください。咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったドアノブなど周囲のものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他者に病気をうつす可能性がありますので、咳エチケット（咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖を使って口や鼻をおさえる）を行ってください。特に、電車や職場、学校など人が集まるところで行うことが重要です。



●感染が疑われる場合、どこの医療機関に行けば、検査、診療をしてもらえますか？

風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く場合（解熱剤を飲み続けなければならない方も同様です）、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合には、最寄りの保健所などに設置される「帰国者・接触者相談センター」にお問い合わせください。

「帰国者・接触者センター」でご相談の結果、新型コロナウイルス感染症の疑いのある場合には、「帰国者・接触者外来」を設置している医療機関をご案内します。「帰国者・接触者相談センター」は、感染が疑われる方から電話での相談を受けて、必要に応じて、帰国者・接触者外来へ確実に受診していただけるよう調整します。受診を勧められた医療機関を受診し、複数の医療機関を受診することは控えてください。

なお、これらの症状が上記の期間に満たない場合には、現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多い状況であり、インフルエンザ等の心配があるときには、通常と同様にかかりつけ医等にご相談ください。

「帰国者・接触者相談センター」はすべての都道府県で設置しています。

●相談や受診する前に心がけることは何ですか？

発熱など風邪の症状があるときは、学校や会社を休んでください。発熱などの風邪の症状が現れたら、毎日、体温を測定して記録してください。

●相談後、医療機関を受診するときに注意することはありますか

帰国者・接触者相談センターから受診を勧められた医療機関を受診してください。医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケットの徹底をお願いします。

文部科学大臣からのメッセージ「保護者、学校の教職員の皆さんへ」

新型コロナウイルス感染症について、不安を感じておられる方も多いことと思います。

新型コロナウイルス感染症対策では、通常の風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に、お一人お一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。子供たちには、外から帰った時などに、必ず手洗いをしっかりとするとともに、正しい知識に基づいて冷静に行動するよう指導してください。

保護者の方や教職員の皆さんにおかれては、国や地方公共団体が発表する正確な情報を収集・把握していただくようお願いいたします。

また、新型コロナウイルスを理由としたいじめや偏見は、決して許されることはありません。今後も、中国から多数の子供たちが帰国することが予想されます。住み慣れた地域や学校を離れてつらい思いをしている子供たちや、感染拡大の防止に向けて懸命に働いているご家族を持つ子供たちを傷つけるような、心ない言葉や態度がとられることがあってはなりません。教職員の皆さんにおかれては適切な対応をとっていただくとともに、保護者の方におかれてもご配慮をお願いいたします。